

6年生のページ

奉仕の心

冷たさをこらえながら雑巾をしぼる姿、一心不乱に床をみがく姿、時間いっぱいできることを探す姿。20日（月）に家庭科の学習で「クリーン大作戦」を行いました。学校の中から自分がきれいにしたい場所を決め、そうじをする学習です。

時間は30分。それぞれが事前に考えていた方法で、そうじに取り組む子ども達。寒さの中でも、時間が足りないというくらい集中してそうじをしました。

そうじの仕方を学習するだけでなく、みんなのためにできることを一生懸命する「奉仕の心」を6年生の姿から感じました。



福祉について考えました

22日（水）に、三和にお住まいの宮野さんにおこしいだき、福祉体験学習をしました。目が見えなくなってしまう時に感じたこと、ふだんの生活で困ること、目が見えなくてもできること、盲導犬がしてくれることなど、自分の体験を語ってくださいました。

その後、アイマスクをつけて見えない状態を体験しました。見えない怖さ、助けてくれる人への感謝や安心感、そして助ける側としてできることを、体験を通して学びました。

宮野さんは「目が見えないことを受け入れるまでに時間がかかった。でも、何とかかなると思って受け入れることができてからは、未来が明るくなった。」と話してくださいました。

自分の弱さや課題にも目が向けられるようになってきた6年生。弱さや課題を受け入れて、解決のためにできることを考えながら、乗り越えていきたいと思っています。



宮野さんの話を聞いて、見えなくなった時から現在にいたるまで、あきらめられなかったことに心を動かされました。心が折れかける時もあったと思うけど、そのつらさを乗り越えられていることがすごいと思いました。

会長や最高学年として心が折れそうなきもああるけど、あきらめないことが大切だと思います。「今が成長するチャンス」と思ってあきらめないことを続けていきたいと思っています。

〜ふりかえり〜

目が不自由な方の生活を支える様々な道具も紹介していただきました。